

山口県立総合医療センター

山口県立総合医療センター救急科救急科専門研修プログラム

救急医療では医学的緊急性への対応が重要であります。しかし、救急患者が生じた段階では緊急性や罹患臓器は不明なため、いずれの緊急性にも対応できる救急科専門医が必要になります。救急科専門医は救急搬送患者を中心に診療を行い、疾病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の種類に関わらず、すべての緊急病態に対応することができます。国民にとってこのような能力をそなえた医師の存在が重要になります。本研修プログラムの目的は、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。



研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、救急当番(日勤または夜勤)や重症患者を担当し、救急患者の診断と治療、家族への説明、他科との連携を学びます。											
	県立総合医療センター											
2年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、または連携病院で6~12か月間研修し、救急・集中治療の実績をつみます。											
	県立総合医療センター、山口大学附属病院											
3年目	山口県立総合医療センター(基幹研修施設救命救急センター)で12か月間、または連携病院で6~12か月間研修し、さらなる救急・集中治療の研鑽をつみます。											
	県立総合医療センター、徳山中央病院											

研修週間スケジュール例

	午 前	午 後	セミナー等
月			
火			
水	ER当番 もしくは 病棟 (一般棟、HCU、ICU)	ER当番 もしくは 病棟 (一般棟、HCU、ICU)	午前:入院・外来患者 カンファレンス
木			
金			

>> 研修施設一覧

【 周 南 】・徳山中央病院
【 宇部・小野田 】・山口大学医学部附属病院

プログラムに関する問い合わせ先

- 担当部署／山口県立総合医療センター
総務課
- 担当者／福重 若菜
- 電話／0835-22-4411
- Eメール／soumuka@ymghp.jp